

予算の概要

令和6年度予算は、被保険者数および平均標準報酬月額が増加・増収を見込んでいることに加え、保険料率を千分の96から千分の100（一般保険料率を千分の98.71、調整保険料率を千分の1.29）へ引き上げさせていただいたことで、健康保険料収入が前年度予算と比べ133億4,309万9千円の増収を見込んでおります。支出面においては、医療費（保険給付費）と納付金（高齢者医療制度への納付金・支援金）の合算額が健康保険料収入を大きく上回り、前年度からの繰越金を繰り入れたとしても経常収支差引額では、84億8,696万3千円の赤字での予算となっています。

令和6年度の収入支出予算が決定しました

去る、2月19日（月）に開催されました第172回組合会において、令和6年度の収入支出予算が承認されましたので、その概要をお知らせします。



予算基礎数値

- 被保険者数…**321,000名**
- 健康保険料率…**100%**（調整保険料率1.29を含む）
- 平均標準報酬月額…**325,000円**
- 介護保険料率…**18.2%**

健康保険料

収入

▶健康保険収入 **1,374億6,783万2千円**

健康保険収入は
133億4,309万9千円
の増額を見込む

- ◎被保険者数を前年度に比べ10,000名増の321,000名で設定。
- ◎平均標準報酬月額は、前年度に比べ9,000円増の325,000円で設定。

支出

▶保険給付費 **809億1,735万9千円**
▶納付金 **581億5,176万7千円**
▶保健事業費 **55億9,554万8千円**

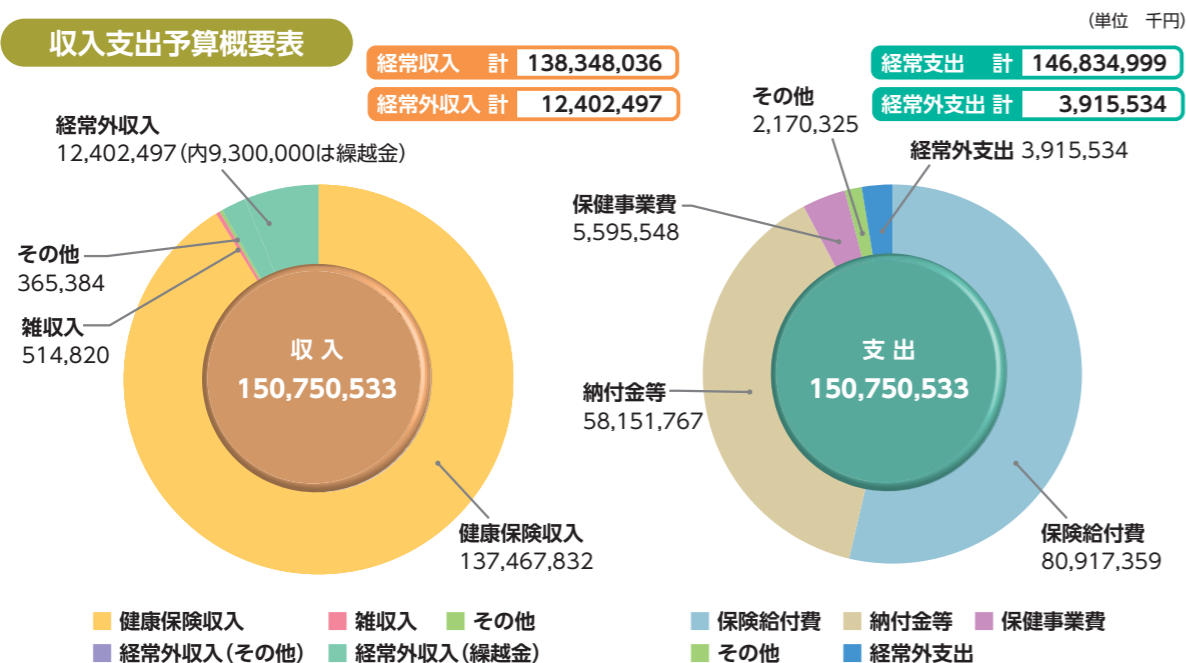
- ◎保険給付費は、過去の平均伸び率及び直近の医療費の動向を基礎に算出し、前年度に比べ、42億4,186万4千円増額し計上。
- ◎納付金の「前期高齢者納付金」は、令和6年度より負担能力に応じて負担するという観点から厚生労働省の定める計算式に変更があったことなどにより、前年度に比べ約8億47百万円減額し計上。「後期高齢者支援金」は、厚生労働省の定める計算式により算出し、前年度に比べ約7億48百万円増額し計上。
- ◎保健事業費は、「第4期特定健康診査等実施計画」に基づき、令和11年度の目標に向け、これまでの実績を踏まえ、受診者数等の精査を行い、前年度に比べ約3億11百万円減額し計上。

介護保険料

▶介護保険は収入支出ともに **137億1,712万5千円**

- ◎被保険者数の増加等により、前年度に比べ5億5,705万2千円の増額を見込む。

収入支出予算概要表



経常支出内訳の年度比較

